

京都精華大学

入学予定者のみなさんへ

学びのおすすめリストについて

京都精華大学

高大接続センター

合格おめでとうございます。

本学では「Discovery Diary ディスカバリーダイアリー」というワークを入学前の課題にしています。自分が日々興味をもったり、発見したことについてメモしたり、絵を描いたり、調べたり、感想や感動、発見、探究したことなどをクロッキー帳にまとめていく課題です。

自分の日常にある「いいね」をたくさん引き出して、自分を知り、スクーリングで他の参加者に自分を紹介する素材にもなります。

そこで、各学部の教員からも「いいね」を紹介してもらいました。「ディスカバリーダイアリー」を作成するときの参考にしてほしいと思います。

ただし、これらは各学部の必ずやらねばならない課題ではありません。他学部のおすすめリストも含めて、皆さんの発見や探究に迷ったときの道しるべになり、新たな「いいね」につながれば幸いです。

まず自分の魂が震える時間を再発見し、その魅力を他の参加者とシェアできるような一冊に仕上げてもらえることを願っています。

自分の何気ない毎日の中にある宝さがしをはじめてください。

学部	学びのおすすめリスト
高大接続センター	■おすすめの本 <ul style="list-style-type: none">・「白百」原 研哉（中央公論新社） 白にかかわる1200字の随想が百編収められています。言葉のデザインを通して思考と感性が豊かに交差する世界が広がっています。豊かな時間を過ごしてください。・「海外にとび出そう 英語でアート!」（マール社） アートに関わる人のための実践的な英会話の本です。 ■おすすめの学習 <ul style="list-style-type: none">レオナルド・ダ・ヴィンチに関する書籍、映像などを調べて、ディスカバリー・ダイアリーにスクラップして感想を書いてみましょう。 ■おすすめの場所 <ul style="list-style-type: none">金沢21世紀美術館（石川県金沢市） 大塚国際美術館（徳島県鳴門市） 足立美術館（島根県安来市）
ポピュラーカルチャー	■おすすめの本 <ul style="list-style-type: none">・「ちぐはぐな身体——ファッションって何?」 鷲田清一（筑摩書房） 衣服は私たちの日常生活に欠かせないはずなのに、改めて衣服について考えることってあまりありませんよね。鷲田さんの専門である哲学の視点から、人間の身体と衣服の関係について考えるきっかけを与えてくれる一冊です。・「うたのしくみ」細馬宏通（びあ） 一般には「うた」は歌詞とメロディでできていると思われるかもしれませんが。しかしそれだけでなく「何事かを表現する」という面から 歌うという行為がどのように形作られているかを考えることもできます。 ■おすすめの学習 <ul style="list-style-type: none">ファッションも音楽も、街中でも家でもいたるところで触れることができます。ファッションであれば、服を買いに行ったときにさまざまなお店の商品や内装などを比較することもできますし、街を歩く人の服装からその人の職業や趣味を想像することもできます。音楽であれば、カフェやお店のBGMがどんなふうに鳴っていて、どういう雰囲気を作っているのかなど、生活のなかにある色々な音やその役割に耳を向けることもできます。日常生活のなかにファッションや音楽を注意深く見て、聴いてみることで、自分の感覚を少しずつ研ぎ澄ましていってください。 ■おすすめの場所 <ul style="list-style-type: none">国立民族学博物館（大阪府吹田市）世界中の文化を紹介する博物館。楽器や服などのモノがただ置かれているだけではなく、それらが暮らしの中でどのように使われているかが想像できるような展示もあります。ここに限らず、美術館や博物館などでファッションや音楽に触れられる場所を訪れてみてください。
人文	■おすすめの本 <ul style="list-style-type: none">文学専攻を考えている方<ul style="list-style-type: none">・栗田勇『日本文化のキーワード—七つのやまと言葉』 祥伝社新書 2010年・・・“あわれ、わび・さび、ありがとう”など、日本の文化を考える上で重要なキーワードとなる日本 語七つを解説したものの。ことばは文化であることが分かります。・岩波新書店編集部『日本古典のすすめ』、岩波ジュニア書、1999年・・・奈良時代の万葉集からはじまり、古今和歌集、枕草子、源氏物語、徒然草、奥の細道など、国語の 教科書でも有名な日本を代表する古典文学作品を 紹介しています。歴史専攻を考えている方<ul style="list-style-type: none">・網野善彦『日本の歴史をよみなおす(全)』 ちくま芸文庫 2005年・・・社会と自然の関係、職能民・女性などの観点から、中世における日本社会の歴史的転換を読み解いた本です。・川北 稔『砂糖の世界史』 岩波ジュニア新書 1996年・・・「世界商品」といわれた砂糖の生産・消費から近代世界史の特質に迫った本です。社会専攻を考えている方<ul style="list-style-type: none">・雨宮処凛『生き地獄天国—雨宮処凛自伝』 ちくま文庫 2007年・・・「生き辛さ」を乗り越えたところに生の充実があります。・松本修『全国アホ・バカ分布考—はるかなる言葉の旅路』 新潮文庫 1996年・・・出発はちょっとばかばかしく見えるようなことでも、つきつめて調べていくととても興味深い真理 にたどり着く、という学びのおもしろさが、ドキュメンタリー風に描かれています。 ■おすすめの学習 <ul style="list-style-type: none">いま自分が住んでいる地域(都道府県・市町村など)を、5枚の写真を使って紹介してください。その際、地元の博物館や郷土資料館、記念館や地域センターなどを 訪れてみると、今まで知らなかった地域の魅力を再発見 できるかもしれません。

学部	学びのおすすめリスト
芸術	■おすすめの本 <ul style="list-style-type: none">・「美術の物語」E.H.ゴンブリッチ（ファイドン社） 世界中の美術を志す人々や美術好きの人々が一度は手にする大ベストセラー。図版を見るだけでも楽しい。難点は高く重いこと。入手も難しいかもしれませんが、手に入れる価値はある。図書館に通って探してみてください。・「虹の西洋美術史」岡田温司（ちくまプリマー新書） 絵に描かれた数々の虹の意味を読み解く西洋美術史の入門書。・「めくるめく現代アート」 寛菜奈子（フィルムアート社） イラスト満載なので、誰もが楽しく夢中になれる現代アートガイド。・「5歳の子どもにできそうでできないアート」 スージー・ホッジ（東京美術） とにかく図版とデザインが美しいアート入門書。持ってみて、眺めてみて、読んでみて・・・幸せになれるかも。 ■おすすめの学習 <ul style="list-style-type: none">美術館やギャラリーへ出かけてみよう♪[♪]美術作品を鑑賞し特に気に入った作品や感動した作品をディスカバリー・ダイアリーにイラストを交えて紹介して下さい。感想だけでもOK。 ■おすすめの場所 <ul style="list-style-type: none">たまには日本の仏像を見るのもいいね♪[♪]・広隆寺（半跏思惟像）京都 ・六波羅蜜寺（空也上人立像）京都 ・興福寺（阿修羅像）奈良 ・万博公園（太陽の塔）（国立民俗学博物館）大阪 ・国立国際美術館（現代アートなど）
デザイン	■おすすめの本 <ul style="list-style-type: none">・「芸術としてのデザイン」ブルーノ・ムナリー（ダヴィッド社） ムナリーはイタリアの非常に有名なデザイナーで、教育者でもあります。 彼のデザイン論が分かりやすく書いてあります。・「デザインのデザイン」原研哉（岩波書店） 非常に有名なグラフィックデザイナーの原研哉が書いたデザイン書。様々な事例をもとにデザインを論じています。 ・おすすめの学習 <ul style="list-style-type: none">自分の好きなデザイナー、建築家を搜してみよう。その人の作品を観ながら、なぜ好きなのか考えてみよう。また写真だけでなく、実際に手を取ったり観に行ったりしてよく考えてみよう。 ■おすすめの場所 <ul style="list-style-type: none">京都国立近代美術館（京都市） 京都国立博物館（京都市） アサヒビール大山崎山荘美術館（京都府大山崎） 河井寛次郎記念館（京都市東山区）
マンガ	■おすすめの本 <ul style="list-style-type: none">・「もいもい」市原 淳 「あかちゃん」が選んだあかちゃんのための本。表現の原点を“あかちゃんの視点”から考えてみるきっかけにしてみてください。楽しみながら、自分で問いをたてながら、自分の好奇心を育てましょう。・「あなたの知らない脳-意識は傍観者である」ディビッド・イーグルマン これから経験する新しい大学生活。「“経験する自分”っていったい何だろう？」表現と心理学に興味のある人には特にオススメの本です。・「モルフォ人体デッサン 形態学による人体を描くための新テクニック」ミシェル・ローリセラ 格好良いポーズを描きたい時、そのために知りたいちょっとした筋肉の付き方をわかりやすく描いている実用書。人体の捻じれなど、直立している絵からでは想像し難い構図を多数載せてくれています。・「マンガの方法論 超マンガ大学」さそうあきら 京都精華大学マンガ学部教員による、マンガ創作を志す学生のための、アイデアの出し方・まとめ方についての実践的な入門書。・「アニメーターズ・サバイバルキット」リチャード・ウィリアムズ アニメーション制作に必要な物の考え方と、そのプロセスの名著。・「驚くほどうまくなる! マンガ背景技法 グリッドで背景を描こう (Comickers テクニックブック)」常野啓 背景など空間を描く技法はマンガやアニメを描く上で避けては通れません。しかしながらその技法は多分に「数学的」な知識を必要とします。それを簡単に理解できるように解説しているのが本書です。パス技法の基本が勉強できます。・「【面白さ】の研究」都留泰作 「面白さ」とは何か? 「エンタメの論理」をマンガやマンガを取り巻く映画・アニメ作品を題材に、文化人類学的な考え方も用いながら考察する ■おすすめのWEBサイト <ul style="list-style-type: none">・「ヒトカク」 人体を描くための基本が楽しく簡単に学べるサイトです。ノートと鉛筆（またはタブレット）を持って毎日1ページずつ描いてみるのも良いでしょう。・「Pinterest」・・・画像検索サイト。外国の人も多く使っており、Pixivに比べると、全体的に絵のクオリティが大変良い。デザインや装飾なども見つけやすい。また、絵の描き方を説明しているものが多く出てくるが、大変参考になるものでいっぱい。これだけでも、十分なテキストになる。 ■おすすめの映像 <ul style="list-style-type: none">・映画館で上映されている作品 できるだけ色々な映画を、映画館で観てみましょう。パソコンでながら観るのではなく、集中してみないと学べないものがあります。・https://www.youtube.com/user/seikaanimation/videos アニメーション学科学生の過去作品などが集まるセイカアニメの学生作品YouTubeページです。 ■おすすめの場所 <ul style="list-style-type: none">・「京都精華大学『卒業・修了制作展』（京都精華大学）・「三鷹の森ジブリ美術館」（東京都）・「京都国際マンガミュージアム」（京都市）・「おもちゃ映画ミュージアム」（京都市）